

会社概要

設立年月日	1996年2月1日
資本金	10億18百万円
社員数	87名(アクセル単体)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体集積回路及び半導体集積回路を組み込んだプリント基板の設計、製造、販売 ・画像・音声・機械学習等に関する要素技術の研究、開発、販売 ・情報セキュリティに関する要素技術の研究、開発、販売 ・ロックチェーンに関する要素技術の研究、開発、販売 ・インターネットを利用した各種情報提供サービス業 ・ソフトウェアの開発、販売 ・前各号に関する応用機器の設計、製造、販売 ・古物売買業 ・前各号に付帯する一切の事業

取締役	取締役社長(代表) 松浦 一教 取締役副社長(代表) 斎藤 昭宏 取締役 蟹江 幸司 取締役 客野 一樹 取締役(監査等委員) 西坂 稔一郎 取締役(監査等委員) 三村 勝也 取締役(監査等委員) 鈴木 真巨 取締役(監査等委員) 五十島 滋夫
※監査等委員は全員独立社外取締役です。 ※西坂穎一郎氏は常勤の監査等委員です。	

所在地 T101-8973 東京都千代田区外神田四丁目14番1号
秋葉原UDX 南ウイング10階
TEL:03-5298-1670 FAX:03-5298-1671

グループ会社 ax株式会社
モーションポートレート株式会社
株式会社VIPOOL

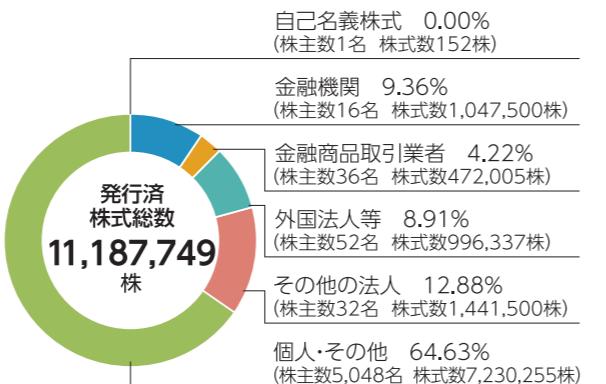
URL <https://www.axell.co.jp/>

株式の概要

発行可能株式総数	23,112,000株
発行済株式総数	11,187,749株
株主数	5,185名

株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
佐々木 謙	1,243,200	11.11
緑屋電気株式会社	849,000	7.58
市原 澄彦	595,800	5.32
柴田 高幸	594,800	5.31
松浦 一教	388,800	3.47
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY - PB	368,000	3.28
日本マスター トラスト信託銀行 株式会社(信託口)	354,200	3.16
森屋 和喜	330,000	2.94
株式会社アバールデータ	260,000	2.32
クレディ・スイス証券株式会社	194,400	1.73

所有者別分布状況

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします)
期末配当金	3月31日
受領株主確定日	(中間配当を実施する場合は9月30日)
公告方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.axell.co.jp/) に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座	
口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

お知らせ
株式に関するお手続きについて

- (1) 株主さまの住所変更、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなっております。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの
100%植物油のインクで印刷しています。


アクセルをより知っていただくためのIRマガジン

AXELL Review

証券コード 6730

第25期報告書

2019.4.1 ▶ 2020.3.31

企 業 理 念

Mission

Vision

Values

Corporate philosophy

- 洗練された製品・サービスの創造を通じ、世の中の革新に貢献しよう

- 先端テクノロジー企業として、グローバルに活躍することを目指そう
- 顧客の満足を第一としよう
- プロフェッショナルとして挑戦することを楽しもう
- 多様性を尊重し、仲間と一緒に大きな事を為そう
- スピードを上げよう

社長ごあいさつ
グループの総力を結集し新規事業の早期確立を目指します。

はじめに、新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々、罹患された方々に心よりお見舞い申しあげます。また、感染抑制及び日常生活の支援に尽力いただいている皆さんに、心からの敬意を表します。

当期は第2の創業期として、新たな企業理念のもと、アクセルグループとして既存事業の強化とともに新規事業の早期事業化に向けた活動に取り組みました。今期の業績は、パチンコ・パチスロ機向け製品の販売が好調であったことに加え、新規事業関連の売上が着実に伸びたことで、業績を改善することができました。来期の業績につきましては、新型コロナウイルスによる影響が不透明なため公表することができませんでしたが、業績の見通しが立ち次第、速やかに公表いたします。株主の皆さまにはこうした状況をご理解いただき、引き続きのご支援をお願い申しあげます。

代表取締役社長 松浦 一教



第25期(2020年3月期)の連結業績について

パチンコ・パチスロ機向け製品の販売が好調 新規事業は売上増に貢献しました

第2の創業期と位置づけた当期は、新規事業の展開を加速させるため、ax株式会社を設立するとともに、bitcraft株式会社及びモーションポートレーント株式会社を当社グループに迎えました。これにより連結決算へ移行し、業績はセグメント別に「LSI開発販売関連」と「新規事業関連」で開示しています。

「LSI開発販売関連」では、主力市場であるパチンコ・パチスロ機の年間販売台数が175万台(前期179万台)と、ほぼ横ばいで推移したと分析しています。こうしたなか、グラフィックスLSIは、前期に影響を受けた在庫調整が収束したことに加えて、新製品AG6の採用が着実に進んだことから、39万個(前期29万個)の販売となりました。さらに、メモリモジュール製品は新規採用の増加に加え、採用顧客の好調な販売動向に支えられ、前期の24万個から80万個へ大きく伸びました。これにより、売上高9,068百万円、セグメント利益1,615百万円となりました。

「新規事業関連」では、ゲーミング市場に向けた

ミドルウェア製品の着実な販売に加え、機械学習(AI)領域におけるソリューションの採用事例も増え、売上を着実に伸ばしました。この結果、売上高は196百万円となりましたが、新規事業全体としては製品開発等の先行投資時期にあたるためセグメント損失641百万円となりました。

また、各セグメントに紐づかない全社費用は580百万円となりました。

以上により、当期は売上高9,265百万円(前期5,003百万円)、売上総利益2,948百万円(同1,708百万円)となりました。

販売費及び一般管理費は、新規事業をより加速させるための管理体制の強化と研究開発投資を行った一方、AG6の開発収束により、2,555百万円(同3,380百万円)となりました。

これにより、営業利益は393百万円、経常利益は535百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は468百万円と、黒字に回復しました。期末配当につきましては、1株当たり21円とさせていただきました。財政状況は、流動資産10,103百万円、うち現金及び預金は8,071百万円、自己資本比率は88%で、引き続き高い健全性を維持しています。

なお、取締役(監査等委員を除く)を対象とした当期の短期業績連動報酬(役員賞与)につきまし

ては、当期にかかる支給基準を満たしていますが、6月30日開催の第25期定時株主総会で承認された役員報酬改定案のより厳しい支給基準に基づき判定した場合は基準を満たさないことから、全対象役員から辞退の申し出があり不支給としました。

第26期(2021年3月期)の見通しについて

パチンコ・パチスロ市場の見通しは不透明 新規事業は積極的な取り組みを推進します

主力のパチンコ・パチスロ機市場は、法改正に伴う新規則機への入れ替え需要が見込まれていましたが、新型コロナウイルスの影響により、今後の見通しは極めて不透明な状況となっています。当初2021年1月までに求められていた遊技ホールの新規則機への入れ替え期限は延長されましたが、新型コロナウイルス感染症の終息時期等の影響を大きく受けるものと考えています。このような状況のなか、引き続き当社グループは需要を的確にとらえることに尽力していきますが、現時点においては合理的な業績予想の算出が困難であると判断し、第26期の業績予想は未定とすることとしました。業績の見通しが合理的に予想可能となった時点で、速やかに公表します。

新規事業関連では、第28期の売上高16億円超を目指し、引き続き積極的な取り組みを推進していきます。なかでも、機械学習(AI)は、独自開発のエッジ推論向けディープラーニング・フレームワーク「ailia」を中核に展開し、フレームワークの販売と開発支援ビジネスを積み上げ、早期にロイヤリティビジネスを構築し安定収益化を目指します。その実現を早期に達成するため、当期にax株式会社を設立し、bitcraft株式会社及びモーションポートレーント株式会社をグループに迎えました。ミドルウェア領域では、主にゲーミング市場向け製品を多機能パッケージとして販売することで付加価値

を向上させ、幅広いラインアップを武器に企業、アプリごとの固定売上や連動型のロイヤリティビジネスを確立します。また、NEDO公募事業の一環としてプロジェクトを推進している完全自動運転に向けた専用システムLSIの研究開発の継続、SHALOプロジェクトとして、継続的な成長が期待されるセキュリティツール市場への暗号化ソリューションの提供、子会社VIPOOLが運営するマイニングプールをベースにしたマイニングプラットフォームの提供及びブロックチェーンソリューションの提供も推進していきます。

Column

新たに「株主優待制度」を導入しました

投資先としての魅力向上で知名度を高めるとともに、当社株式を長く保有してもらうことを目的として、株主優待制度を導入しました。具体的な株主優待の内容は下記のとおりです。保有株式数、継続保有期間に応じてクオカードを贈呈します。

保有株式数	継続保有期間及び優待内容		
	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上
100株以上500株未満	-	クオカード500円	
500株以上	-	クオカード500円	クオカード3,000円

●毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主さままで、上記の継続保有期間及び保有株式数に該当する株主さまを対象とします。

※継続保有期間1年以上とは、毎年3月31日及び9月30日の当社株主名簿に同一の株主番号で、3回以上連続して記載又は記録された株主さまとします。

※継続保有期間5年以上とは、毎年3月31日及び9月30日の当社株主名簿に同一の株主番号で、11回以上連続して記載又は記録された株主さまとします。なお、保有株式数については、直近の基準日時点の保有株式数にて判定します。

■ 連結損益計算書(要約) (百万円)

	第24期(個別)	第25期(連結)	増減率
売上高	5,003	9,265	85%
売上原価	3,295	6,316	92%
売上総利益	1,708	2,948	73%
販売費及び一般管理費 (研究開発費)	3,380 (2,513)	2,555 (1,549)	△24% (△38%)
営業利益(△損失)	△1,672	393	-
経常利益(△損失)	△1,651	535	-
親会社株主に帰属する当期純利益(△損失)	△2,000	468	-

■ 連結貸借対照表(要約) (百万円)

	第24期(個別)	第25期(連結)
流動資産	8,669	10,103
固定資産	1,032	1,043
資産合計	9,701	11,146
流動負債	347	1,272
固定負債	40	38
負債合計	388	1,310
純資産合計	9,313	9,836
負債・純資産合計	9,701	11,146

新規事業について

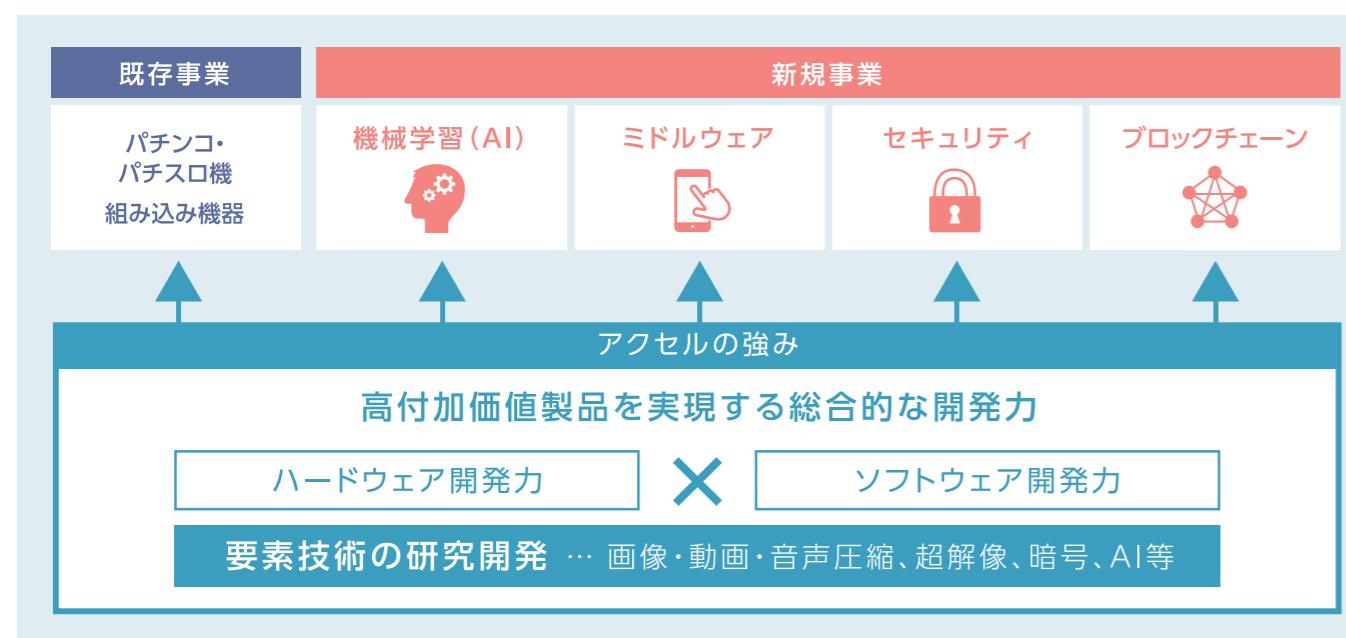
アクセルの目指す姿

アクセルの強みを新規事業領域でも生かし、 新規事業の早期確立を目指す

当社は要素技術の研究開発力・ハードウェア開発力・ソフトウェア開発力という3つの強みを生かし、パチンコ・パチスロ機向け製品の開発において事業を拡大してきました。この3つの強みと親和性が高く、蓄積した技術・ノウハウが応用できるうえに、大きな成長力を持つのが、機械学習(AI)、ミドルウェア、セキュリティ、ブロックチェーンです。そこで当社は、この4領域を新たな成長を担う新規事業としてフォーカス。既存事業での成功を再現することで、世の中の革新に貢献する先端テクノロジー企業として成長し続けます。

アクセルの目指す姿

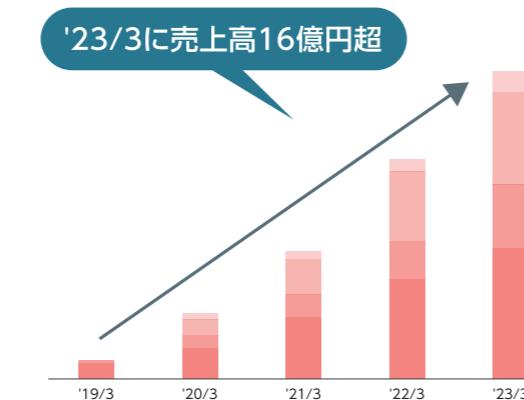
強みを生かし、事業を通じて「世の中の革新に貢献する先端テクノロジー企業」へ



業績目標

新規事業への取り組みを積極的に進め 同分野での売上高16億円超を目指します

新規事業の業績目標として、2023年3月期(第28期)の売上高16億円超の達成を掲げています。この達成に向け、新規事業4領域での早期の収益化を目指します。機械学習(AI)では、開発支援、AIのフレームワーク販売からロイヤリティビジネス。ミドルウェアでは企業、アプリごとの固定や売上連動型のロイヤリティビジネス。さらに、セキュリティでは、セキュリティツール市場への暗号化ソリューションの積極展開。ブロックチェーンではマイナーとブロックチェーン運営者の両者にソリューションを提供します。



各事業の展開



機械学習(AI)事業

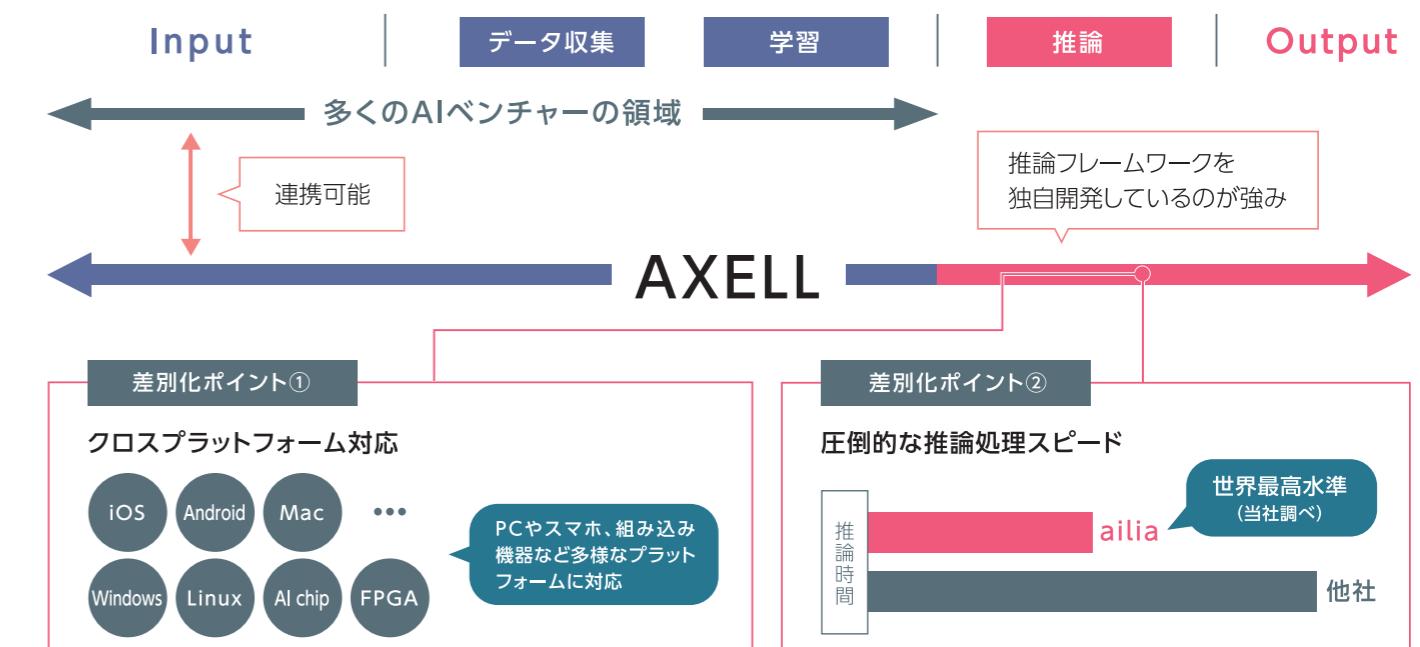
AIの導入支援からアプリケーション開発まで トータルソリューションを提供

機械学習(AI)における強み

「学習側」から「推論側」までAI実装に必要な一貫した開発体制を提供できるユニークな立ち位置

「学習」と「推論」の2プロセスが必要なAIシステムの構築。当社グループは「推論」に強みを持つことが特長で、「学習」が得意な多くのAIベンチャーとも連携が可能。多様な顧客ニーズに対応した付加価値の高いトータルソリューションを提供することができます。

■AIシステムの構築プロセスとアクセルの事業領域

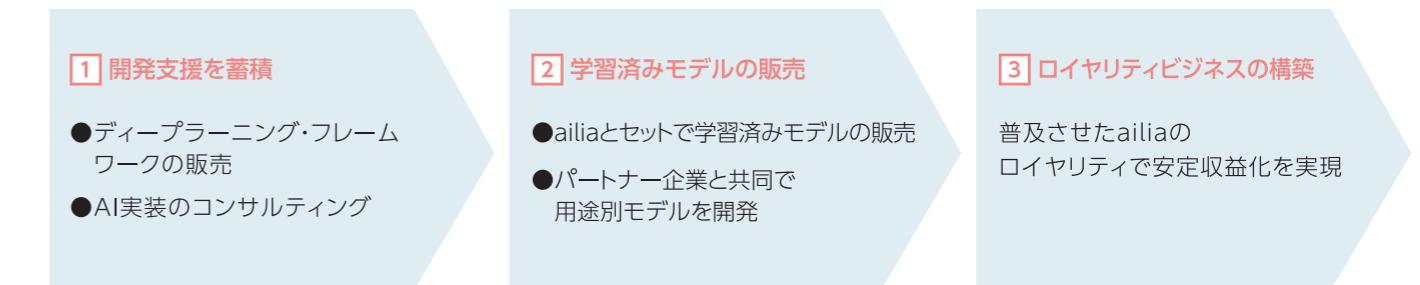


※システム名、製品名等の各名称は一般に各社の登録商標又は商標です。

目指すビジネス

「ailia」を起点にロイヤリティビジネスを構築

世界最高水準の性能を誇る「ailia」を起点に、ソフト開発会社や製造業・サービス業などのAIニーズを取り込み、開発支援からスタート。さらに開発支援を通じて学習済みモデルを蓄積し、ailiaとセットで学習済みモデルやAI製品を販売。普及させたailiaのロイヤリティで安定収益化を実現し、ロイヤリティビジネスを目指します。



新規事業について

各事業の展開

ミドルウェア事業

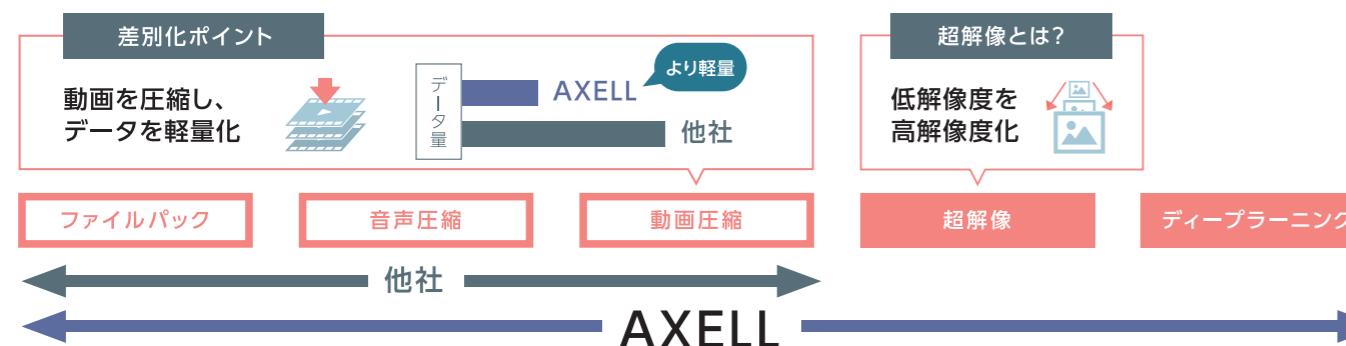
ゲーミング市場で求められる製品のフルラインアップで優位性を確立

アクセルの取り組み

多機能パッケージが特長の「AXIP」で他社と差別化

スマホ向けゲームアプリ開発会社、アニメ制作会社などをターゲットに、「AXIP」と名づけたミドルウェアを提供していきます。ゲーム開発に必要な製品をフルラインアップした多機能パッケージが特長で、各製品が業界最高レベルの機能を有しています。

■業界最高水準の機能と幅広いラインアップ



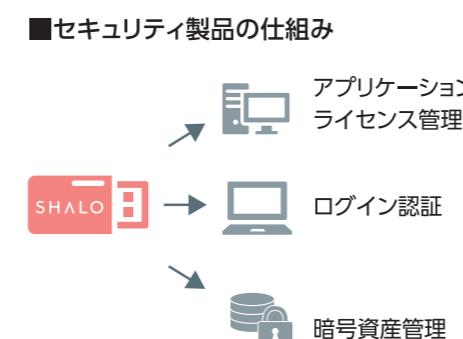
セキュリティ事業

安定性と充実のサポート 高い信頼性を持つ「SHALO」を開発・販売

製品の概要

ライセンス管理やログイン認証など セキュリティ・ソリューションを提供

「SHALO」は、ライセンス管理や認証、暗号資産管理など秘密鍵を利用したさまざまなシーンで、よりセキュアな情報管理を可能にするソリューションです。日本企業の開発した製品として、高い安定性、導入の容易性、使いやすさや充実したサポートといった、競合との差別化を実現しています。



ブロックチェーン事業

社会変革を実現するブロックチェーン技術において ハード・ソフトウェア開発力を生かしたサービスを展開

ブロックチェーンの取り組み

マイナーと企業の両者に向けて、ニーズの高い支援サービスを提供

マイニングプールの運営を中心に、マイナー(採掘者)向けにマイニング・プラットフォームを提供。また、蓄積されたブロックチェーン関連のリソースを活用し、ブロックチェーン運営者向けにブロックチェーン開発支援ソリューションを提供しています。

■ブロックチェーン事業におけるアクセルの事業領域

